

I. 地域の経済動向調査について

地域の経済動向を把握し、「経営状況の分析」及び「事業計画策定」における基礎資料として活用することを目的として、地域の経済動向調査を実施し分析を行った。

外部データを分析した「滋賀県内の経済動向調査」と、地域内事業所巡回に独自に調査を行ったデータを分析した「彦愛犬地域内の経済動向調査」により、地域の経済動向を明らかにすることを目指した。当事業2回目の調査であり、過去データ等もない状況での調査であったが、調査結果を蓄積することにより価値のある経済動向調査としたい。

使用数値はD I（ディフュージョン・インデックス）とし、増加（上昇・好転・過剰）企業割合から減少（低下・悪化・不足）企業割合を差し引いた値を基本とするが、一部設備投資については実施企業割合とした。

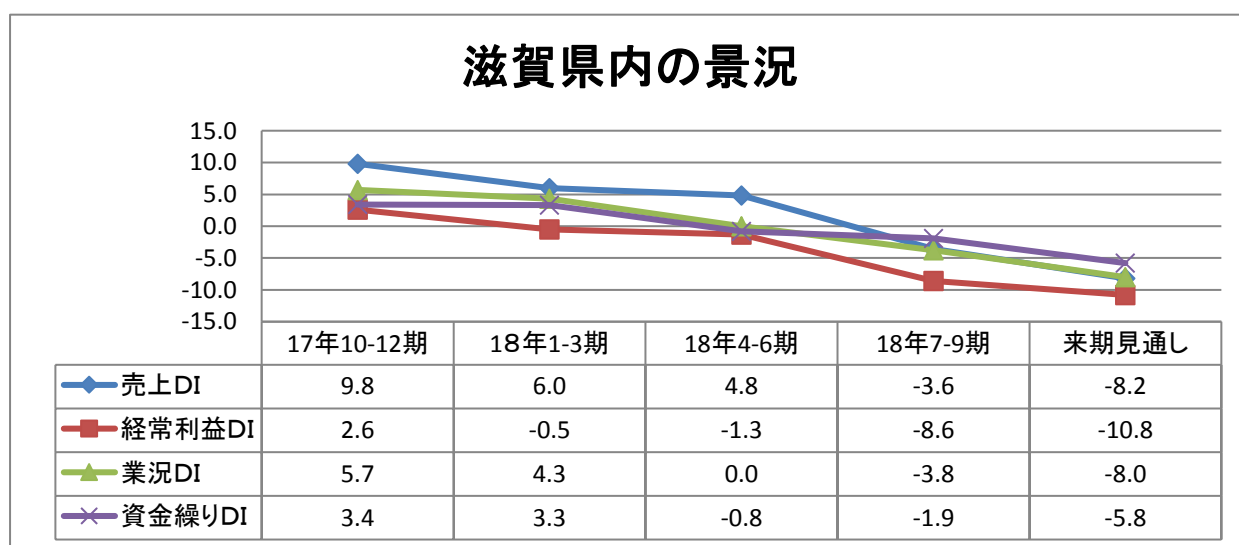
II. 滋賀県内の経済動向調査 ー平成30年9月期ー

1. 調査内容

滋賀県内の経済動向として、公表されている以下の外部データを使用し分析を行った。

- ・滋賀県景況調査結果報告書（平成30年4月～6月期） 滋賀県商工観光労働部商工政策課
- ・滋賀県景況調査結果報告書（平成30年7月～9月期） 滋賀県商工観光労働部商工政策課
- ・滋賀県内企業動向調査 2018年4～6月期（株）しがぎん経済文化センター
- ・滋賀県内企業動向調査 2018年7～9月期（株）しがぎん経済文化センター
- ・中小企業景況調査報告書 平成30年4～6月実績 平成30年6～9月予測 滋賀県商工会連合会
- ・中小企業景況調査報告書 平成30年7～9月実績 平成30年10～12月予測 滋賀県商工会連合会

2. 滋賀県内の景況（全業種）

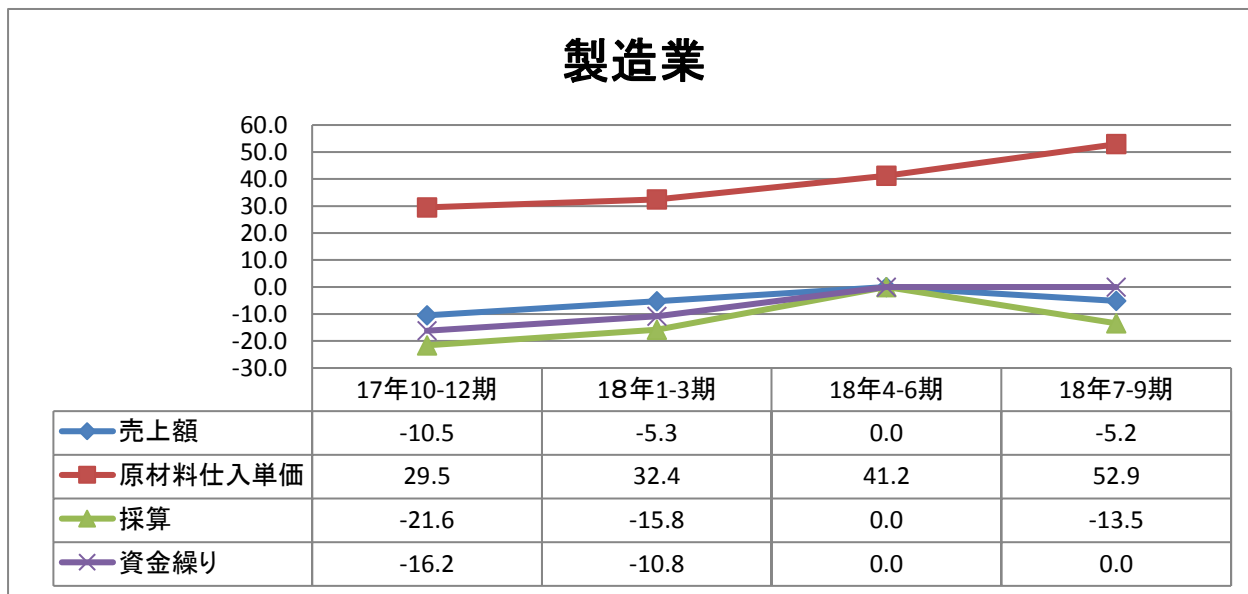


（出典：滋賀県景況調査結果報告書 滋賀県商工観光労働部商工政策課）

売上D IについてH30年度第2四半期にマイナスへと転じた。、経常利益、業況、資金繰りいずれのD Iについてもマイナス領域にあり、来期の見通しについても一層厳しい状況見通しにある。

3. 業種別景況

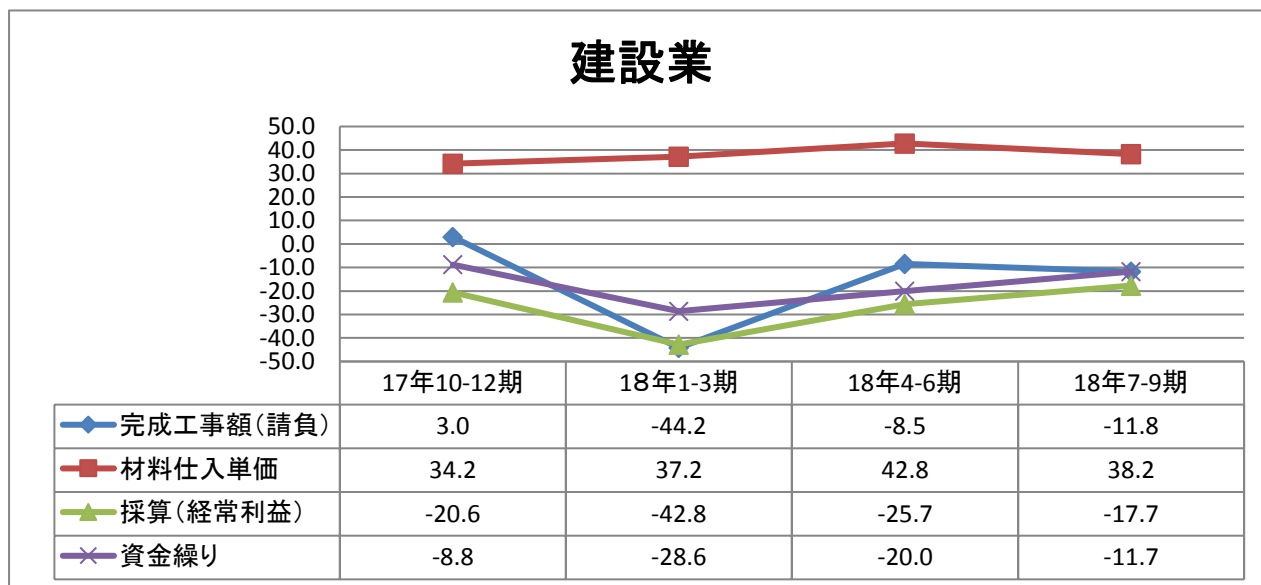
① 製造業



(出典：中小企業景況調査 滋賀県商工会連合会)

売上額は、前年同期に比べて、増加企業が31.6%に対し、減少企業が36.8%で減少企業が5.2ポイント上回っている。採算の状況は、好転企業が16.2%に対し、悪化企業が29.7%で悪化企業が13.5ポイント上回っている。

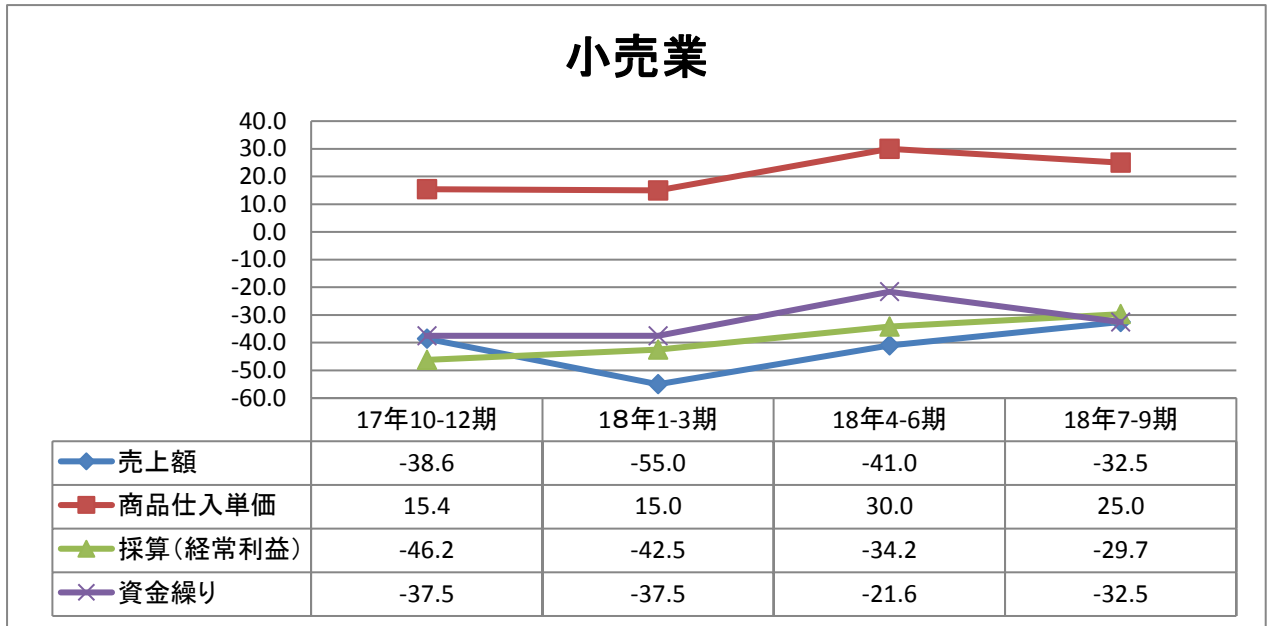
② 建設業



(出典：中小企業景況調査 滋賀県商工会連合会)

完成工事額は、前年同期に比べて、増加企業20.6%に対して、減少企業が32.4%で減少企業が11.8ポイント上回っている。採算の状況は、前年同期に比べて、好転企業が2.9%に対し、悪化企業が20.6%で悪化企業が17.7ポイント上回っている。

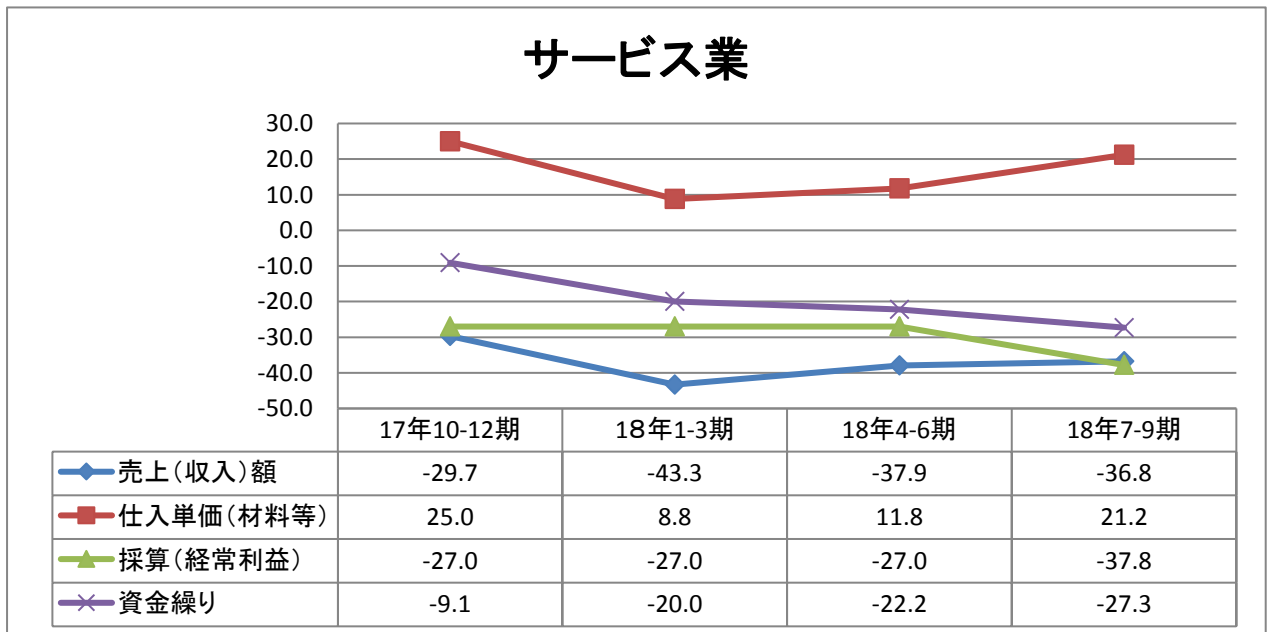
③小売業



(出典：中小企業景況調査 滋賀県商工会連合会)

売上額は、前年同期に比べて、増加企業が15.0%に対し、減少企業が47.5%で減少企業が32.5ポイント上回っている。採算の状況は、前年同期に比べて、好転企業が8.1%に対し、悪化企業が37.8%で悪化企業が29.7ポイント上回っている。

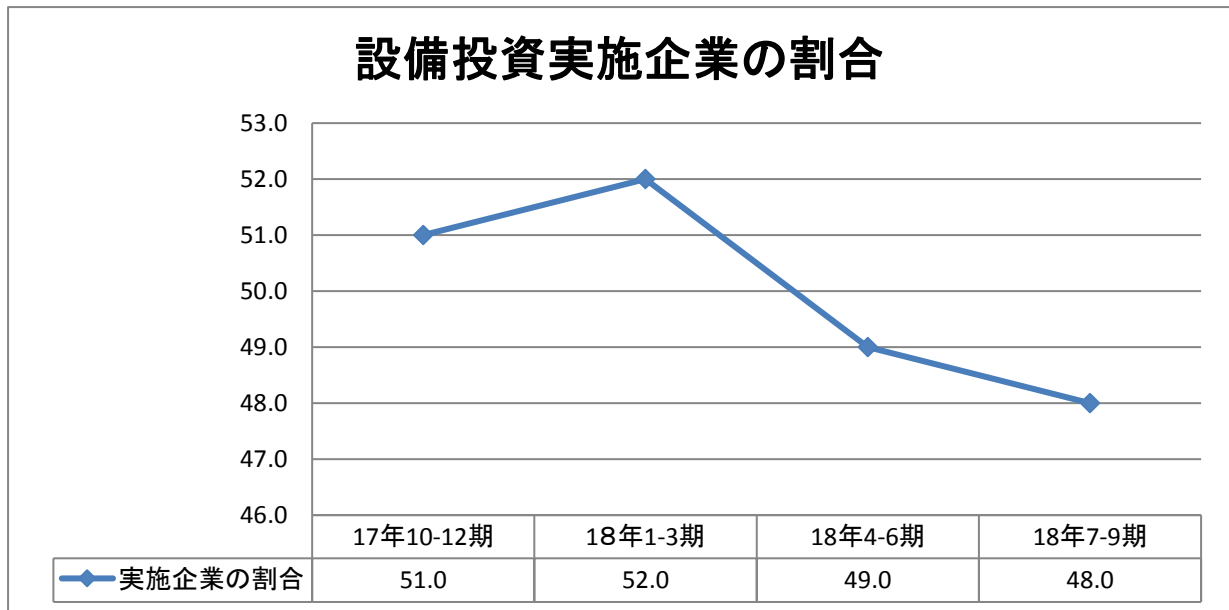
④サービス業



(出典：中小企業景況調査 滋賀県商工会連合会)

売上額は、前年同期に比べて、増加企業が15.8%に対し、減少企業が52.6%で減少企業が36.8ポイント上回っている。採算の状況は、前年同期に比べて、好転企業が2.7%に対し、悪化企業が40.5%で悪化企業が37.8ポイント上回っている。

4. 設備投資の実施状況



(出典：滋賀県内企業動向調査 (株)しがぎん経済文化センター)

	17年10-12期	18年1-3期	18年4-6期	18年7-9期
製造業	54.0	54.0	56.0	52.0
非製造業	47.0	49.0	44.0	44.0

	17年10-12期	18年1-3期	18年4-6期	18年7-9期
建設業	41.0	40.0	42.0	43.0
卸売業	65.0	50.0	40.0	46.0
小売業	41.0	38.0	42.0	32.0
サービス業	60.0	70.0	67.0	52.0

全業種における設備投資実施企業の割合については、48%となり50%台を割り込んだ。来期の見通しについては、製造業50%、非製造業40%で全体では45%とやや低下する見通し。

Ⅲ. 彦愛犬地域内の経済動向調査 —平成30年3月期—

1. 調査内容

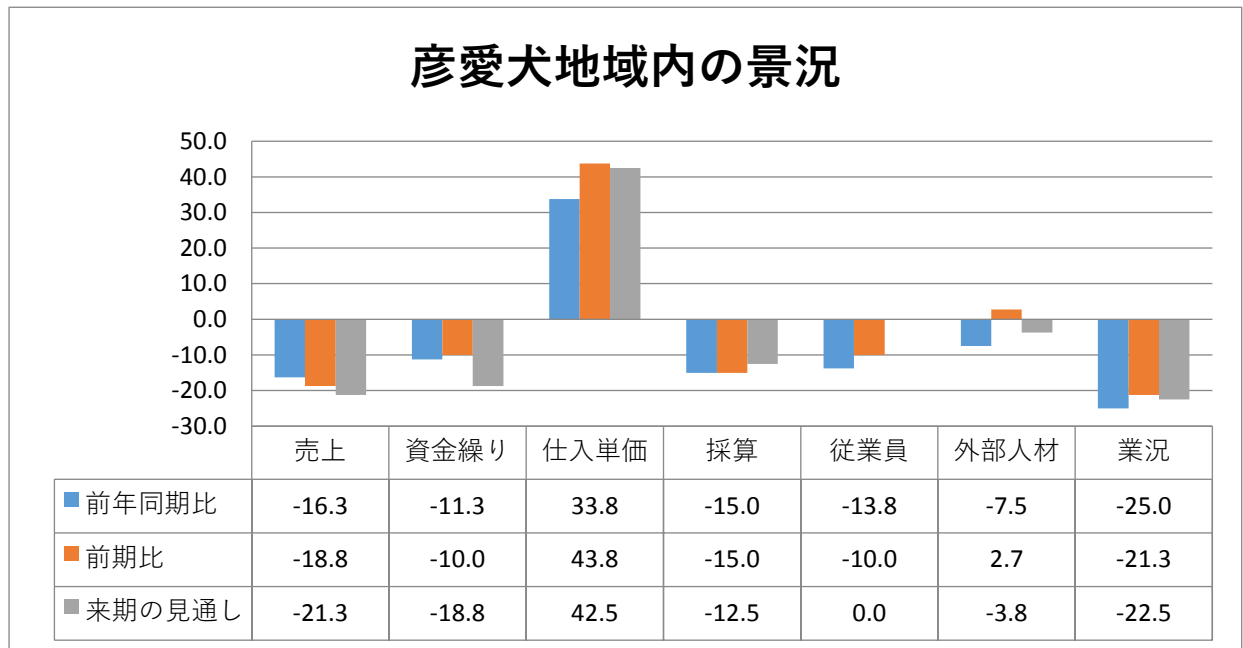
平成30年度10月に、地域内各業種の事業所を業種別に抽出し、平成30年度第1・2四半期の業況についてアンケート形式での調査を実施した。回答を得た事業所数は80社であり、地域の小規模事業者の4.7%に該当する。業種別の回答事業者数は以下の通り。

業種別回答事業者数

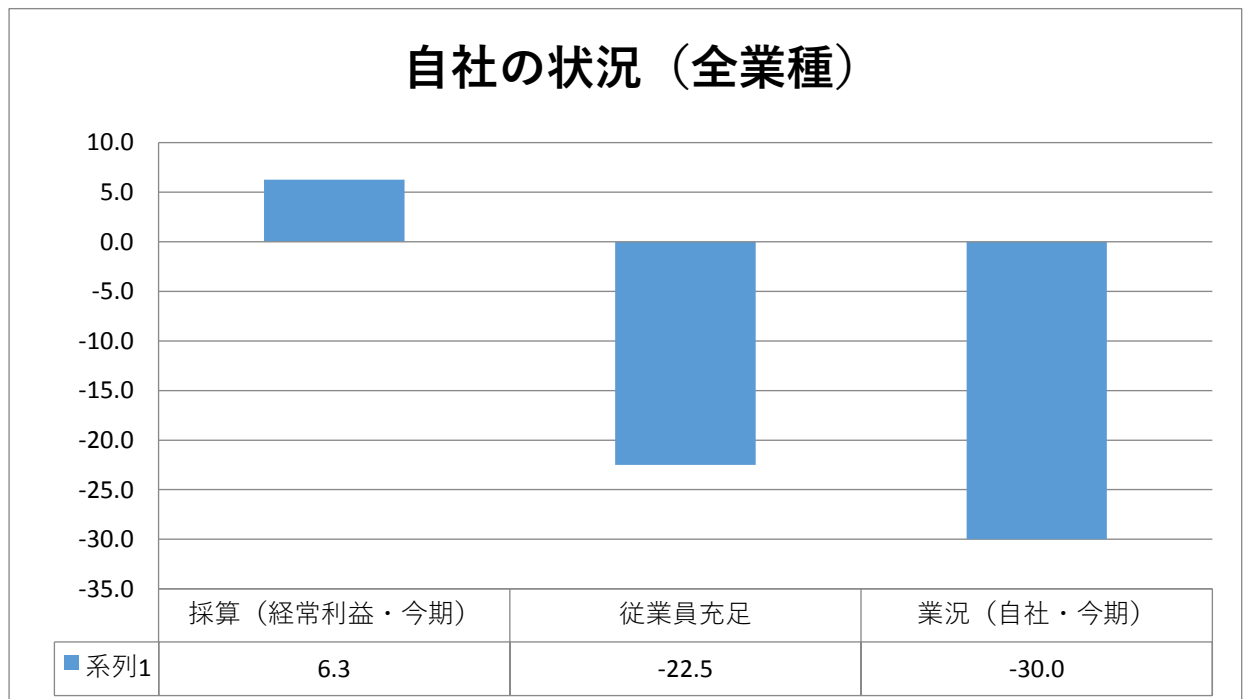
業種	事業所数
小売業	18
サービス業	20
建設業	18
製造業	17
卸売業	7
合計	80

2. 彦愛犬地域内の景況（全業種）

※ 前年同期（平成29年 4月～平成29年 9月）に比べて
 前期（平成29年10月～平成30年 3月）に比べて
 今期後期（平成30年10月～平成31年 3月）の見通し



売上、資金繰り、採算、前年同期との比較からマイナス幅の縮小が見られるが、仕入単価の上昇、人材確保難により業況感については依然低水準である。



採算（経常利益）については、前期との比較から-6.0ポイント。従業員数の不足を感じている事業者は-34.7ポイントと大幅増。業況についても-42.2ポイントと大幅増。厳しさ感が強まっている。